

平成18年度伊丹市行政評価～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	999929		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。									
事務事業名	伊丹市立教職員宿舎管理運営事業						担当部局・課	教育委員会管理部 職員課				
事業内容	伊丹市公立学校教員で単身者を対象に、遠方採用者の良好な住宅の確保。受水槽清掃、消防設備点検などの清掃・点検。当該年度において新規採用者がある場合は、2年程度のサイクルで入居者の新陳代謝を図り、優秀な教員の確保、育成を行う。						事業開始(予定)年度				評価結果 B 上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。	
							平成6年度					
							事業終了(予定)年度					
—												
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	—									
		項目	—									
		施策	—									
⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。												
事業の目的	教員採用試験が兵庫県下全域を対象に実施されることから、新規採用教員が遠方より本市に採用となった場合、速やかに学校運営に専念することを目的として、良好な住宅環境を確保するための緊急避難的な措置としての教員宿舎の利用を斡旋するもの。また、兵庫県教育委員会より、本市への配属が決定されるのが3月末頃となることから、新学期を控えた新規採用教員が学校運営に支障をきたすことのないよう対応するもの。						予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 教育費 (項) 教育総務費 (事項) 教員宿舎管理運営費 (目) 事務局費				
事業費等の概算	平成17年度(決算)						平成18年度(予算)					
	事業費	1,831千円	財源内訳				事業費	1,517千円	財源内訳			
			国・県補助金等		—				国・県補助金等		—	
			市 債		—				市 債		—	
			その他(使用料等)		—				その他(使用料等)		—	
			一般財源(市税等)		1,831千円				一般財源(市税等)		1,517千円	
	投入人員	0.20人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				投入人員	0.20人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)			
	人件費	1,713千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				人件費	1,713千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。			
	経費合計	3,544千円					経費合計	3,230千円				
活動指標	指標名(単位)	教職員採用の充実（人）						計画と実績	年度	H17年度	H18年度	
	意味・算式等	優秀な教職員の確保を図ることを活動指標とする							区分			
									計画値	15	15	
							実績値	14				